

## 仕事算（途中で休む問題）

問題 A が 1 人ですると 30 日、B の 1 人ですると 20 日かかる仕事があります。この仕事を A と B の 2 人で始めましたが、途中 B がかぜをひいて数日休んだところ、すべての仕事を終わらせるのに 15 日かかりました。B は何日休んでいましたか。

今回の問題の「まずはこう解け！」は、汎用性に欠ける部分がありますが、これを知っていることによって、すんなり解ける応用問題もあります。別解とともに理解しておきましょう。

## まずはこう解け！

Step1 全体の仕事量（の比）を日数の最小公倍数でおく！

Step2 1日あたりの仕事量を求める！

Step3 『休んだ分だけみんなでやる仕事が増える』という考えで計算！

 解き方

全体の仕事量をおく

30（日）と20（日）の最小公倍数60を全体の仕事量（の比）とする

全体 = ⑥0

1日分あたりの仕事量を求める

$A \times 30 = ⑥0$  より  $A = ②$

$B \times 20 = ⑥0$  より  $B = ③$

『ある人が休んだ分だけみんなでやる仕事が増える』という考えで計算

2人合わせて15日かかったとすると、仕事量は

$(② + ③) \times 15 = ⑦5$

もともと全体の仕事量は⑥0だったので、 $⑦5 - ⑥0 = ①5$  増えた。

これが、Bの休んだ分なので、

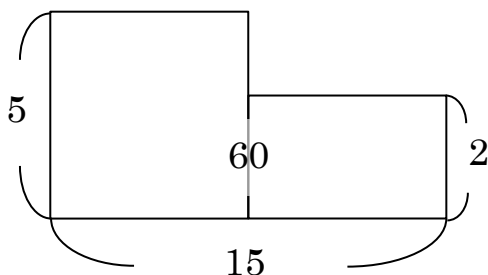
$①5 \div ③ = 5$

答え 5日

※別解「つるかめ算（面積図）」を使った方法

全体の仕事量を60、1日あたりの仕事量を  $A = 2$ 、 $B = 3$  とする。

2人でしたとき  $\rightarrow A + B = 5$ 、Bが休んだ時  $\rightarrow A = 2$



$$(15 \times 5 - 60) \div (5 - 2) = 5 \quad 5 \text{ 日}$$